

# 7月 パラソルだより

今年には気象庁の観測史上、一番早い5月末の梅雨入りでした。当センターの愛称でもある「あじさい」が、町のあちらこちらで色とりどりの花を咲かせてくれました。梅雨が明けてもコロナ禍の中で迎える二回目の夏休みになります。当センターでは親子で楽しめるさまざまなイベントを計画しています。感染予防には十分配慮しますので、たくさんの皆さまのご参加をお待ちしています。

## 「友だちの数は多いほど子どもたちは幸せ」なのでしょうか？

「うちの子は友だちを作れないみたいで心配しています。」と相談されたお母さんがいらっしゃいました。入園式、入学式から3ヵ月経過し、我が子の友だち関係が気になる保護者さんは少なくないと思います。童謡「いちねんせいになったら」（作詞まどみちお）をご存じですか。この歌には「ともだち、ひやくにんできるかな」という歌詞が出てきます。これを聞いて、友だちはたくさんいないといけないという気持ちになる保護者さんやお子さんもいらっしゃるかもしれません。でも、友達が少なくても楽しく生活している大人や子どもはたくさんいますよ。例えば、一人遊びが好きな子どもの中には楽しく虫を観察したり、絵本を読んだりしている子どももいるはずです。「ソリタリー」と呼ばれる性質の人は、他者がいない状態の方が安心するとも言われています。友だちの数ではなく、それぞれのお子さんの特性に注目してあげたいものです。ただし、いじめ等が心配される場合は、すみやかに園や学校の先生に相談してくださいね。

## 「熱中症」や「遊具でのやけど」 に気をつけましょう！

外遊びの際に、帽子や水分補給など熱中症予防への関心は高まっていますが、意外と知られていないのが遊具でのやけどです。遊ばせる前に大人が確認しましょう。

## わずかな油断が水の事故につながります

乳幼児の不慮の事故で2番目に多いのは「溺水」だと言われています。子どもが溺れるとき、バシャバシャともがくのは映画の世界だけだそうです。溺れているという状況を理解できずに、**声を出す余裕もなく、静かに沈むとされています。**これを「本能的溺水反応」といいます。水の事故は海や川やプールだけで起きるという思い込みも危険です。

家の中の浴槽で溺れるという事故も発生しています。とにかく片時も眼を離さないようにしましょう！



## RSウイルス感染症をご存じですか？

あじさいの館内3ヵ所に佐賀県の感染性週報を掲示しています。1位RSウイルス感染症！もよくあります。乳幼児に多い急性の呼吸器感染症です。発熱・鼻水・鼻づまり・咳など、風邪に似た症状がみられます。夏ごろから流行が始まり、年末をピークに春ごろまで続くとされています。予防についてはコロナへの感染予防と似た以下のことの励行です。

- ① 厳重な手洗いと手指の消毒
- ② マスクの着用
- ③ おもちゃや身のまわりのこまめなアルコール消毒



子育てに関する悩みや相談事を  
受け付けています。

電話...0952-75-5120

発行...利用者支援事業「